

1つの内容を何度も繰り返すから成績が上がる！ 東大進学会の特徴

フィードバックシステム

創立以来、多くの子どもたちの成績を向上させてきたシステムです。他の学習塾にお通いの方もご一読ください。

生徒の予習と講師の予習調べ

家庭学習習慣が定着

東大進学会の授業は『予習調べ』からはじまります。予習を通して、「できる」と「できない」を明確にし、毎回の授業に目的意識を持ってもらっています。

指導する我々も予習状況から、どこを重点的に指導すべきかを判断した上で、授業を行います。『予習』が学習効果・効率を上げる秘訣です。



予習調べの様子

東大進学会の授業

適正人数の集団指導！テキストはもちろん完全消化！

予習調べをしているので、各自の弱点に合わせて効果的に授業をします。

『発問』が多く
適度な緊張感とわかりやすく楽しい授業が魅力です。



授業風景（数学）

復習 & S-PLAS

弱点箇所をしっかりと復習

「復習が大事」と言われることは多いと思いますが、東大進学会では効果的な『復習プログラム』をご用意しております。（単に、家庭学習用教材で復習させるわけではありません）

S-PLAS（進学会プリントリングアシストシステム）は、授業で扱った内容を復習する専用プリントです。（＝アタックプリント）解いたプリントを提出し、翌週に不正解だった問題の類題プリントをお渡ししています。（＝ブラッシュアッププリント）

さらに、定期試験前には試験範囲の該当箇所を指定し、間違えた問題をまとめて再出力することができます。

復習も含めた指導まで行うのが当会の強さの秘訣です！

ブラッシュアッププリント

一人ひとりの名前入り!!

できなかった問題の類題を繰り返し練習できます!

フィードバックテスト

【5科目+計算英単語】×【年間12回】＝合計72回、授業時に実施。平均・順位だけでなく偏差値も出します。全国の中で自分の学力がわかることが、全国展開している当会の強みです。

学校の授業

理解度UP!

東大進学会は学校の『先取り』を行うので、学校は復習の場となります。積極的に発表できるので、『内申点』も期待できます。

試験対策“専用”授業

定期試験約2週間前から『定期試験対策授業』がスタート！各中学の定期試験問題の『分析』をしています。

単に試験範囲の授業をするのではなく、『頻出問題や差が付く問題』をテキストの試験対策問題を通じて、指導しています。

また試験対策授業では在籍生徒の少ない学校にも対応します。「試験前なのに範囲ではないところを塾でやった」ということはありません。『定期試験対策も入試対策』が進学会の考えです。



講師の過去問分析の様子

東大進学会にはひとりひとりの目標達成を応援する『指導システム』があります！

フィードバックシステム